

調査研究活動実績

氏名 西内 健

本年度（平成28年度）の政務調査研究に関する主な活動の実施状況を報告いたします。

1. 南米移住に関する調査研究

平成28年9月に日本人パラグアイ移住80周年およびパラグアイ高知県人会創立40周年に参列するとともに、アルゼンチン、ブラジル両国の移住者との交流・意見交換を行った。

南米移住者も2世、3世、ブラジルにおいては5世、6世と世代が変わってきたことから母県である高知県とのつながりが意識の中で希薄化してきており、今後、高知県との交流を違った形で考えることで、高知県とのつながりを図りたいとの申し出があった。

また、県内においても、過去に南米へ移住された方々が、多くの苦労を重ねながら現地で存在感を示している点などを、子供たちを中心に今後どのように伝えていくのか、といった課題を研究する必要があると考える。

2. 公共交通に関する調査研究

四国の鉄道高速化に関して、新幹線導入を考えていく上で、JR四国の現状および課題についてJR四国の役員の方々と意見交換を行った。

現在、新幹線整備には年間750億円程度が予算措置されているわけで、今後は予算の増額が見込めない場合、四国新幹線の整備は30年後以降になると予想される。

調査費用が予算化されたが、今後も国に対して、四国四県が一体となって要望活動等を行っていく。

3. 医療・介護に関する調査研究

今後の地域医療における医療・介護連携をはじめ、地域医療構想や地域包括ケアシステムに関して調査研究を行った。

医療提供体制の確保については、医師・歯科医師・看護師・薬剤師をはじめとしたメディカルスタッフとの意見交換を行った。

また、病床機能の分化・連携に関しては、関係各機関から聴取すること等で調査研究を行った。

平成28年度政務調査項目

1. 南米移住について
2. 公共交通について
3. 医療・介護について
4. 水産振興について
5. 農業振興について
6. 南海トラフ地震対策について
7. スポーツツーリズムについて
8. 事業再生について